

満洲開拓関係雑誌集成 全11巻・別冊1

●体 裁ⅡA5判(第1～7巻)・B5判(第8～11巻)／上製／総約5、800頁

●揃定価Ⅱ本体220、000円＋税

●別冊Ⅱ解題(風間秀人)・総目次

*別冊のみ分売可Ⅱ本体1、500円＋税

ISBN 978-4-8350-1778-8



表示価格は、全て税別

●推 薦Ⅱ蘭 信三・白木沢旭児・白取道博

●原本提供Ⅱ京都大学附属図書館、公益財団法人日本近代文学館、北海道大学附属図書館、公益財団法人労働科学研究所

●配本概要

配本	巻数	雑誌名	発行者	原本巻号	発行年月	
第1回配本	第1巻	『借拓』	満洲拓植公社	第一巻第一号～第二巻第二号	一九三七年二月～一九三八年九月	2015年4月刊行 本体54、000円＋税 ISBN978-4-8350-7773-4
	第2巻	『借拓』	満洲拓植公社	第三巻第一号～第四巻第二号	一九三九年一月～一九四〇年三月	
	第3巻	『借拓』	満洲拓植公社	第四巻第三号～第四巻第五号	一九四〇年四月～七月	
第2回配本	第4巻	『開拓月報』	満洲帝国政府 産業部開拓総局	第二巻第一号～第二巻第四号	一九四〇年一月～四月	2015年9月刊行 本体72、000円＋税 ISBN978-4-8350-7778-9
	第5巻	『開拓月報』	満洲帝国政府 産業部開拓総局	第二巻第五号～第三巻第三号	一九四〇年五月～一九四一年三月	
	第6巻	『開拓協和』	満洲帝国協和会 中央本部	創刊号～第二巻第三号	一九四〇年一月～一九四一年三月	
	第7巻	『開拓協和』	満洲拓植公社内 開拓協和編輯室	第一巻第三号～第二巻第三号	一九四一年一月～一九四二年三月	
	第8巻	『開拓協和』	満洲拓植公社内 開拓協和編輯室	第二巻第四号～第二巻第八号	一九四二年四月～八月	
	第9巻	『開拓協和』	満洲拓植公社内 開拓協和編輯室	第二巻第九号～第三巻第二号	一九四二年九月～一九四三年二月	
第3回配本	第10巻	『開拓協和』	満洲拓植公社内 開拓協和編輯室	第三巻第三号～第三巻第九号	一九四三年三月～九月	2016年2月刊行 本体94、000円＋税 ISBN978-4-8350-7783-3
	第11巻	『開拓協和』	満洲拓植公社内 開拓協和編輯室	第三巻第一〇号～第四巻第三号	一九四三年十月～一九四四年三月	
	別冊	解題・総目次				

不二出版
〒113-0013
東京都文京区向丘五丁目二番
TEL 03-3822-4433
FAX 03-3822-4464
振替 〇〇一六〇一
九四〇八四

2015/4

満洲開拓関係雑誌集成

【編集復刻版】

全11巻・別冊1(解題・総目次)

解題Ⅱ風間秀人

推薦Ⅱ蘭 信三・白木沢旭児・白取道博

揃定価Ⅱ本体220、000円＋税

2015年4月刊行開始(全3回配本)

不二出版



「満洲国」で移民政策を推進した満洲拓植公社、

満洲国政府開拓総局、満洲国協和会が刊行に関わった

『借拓』『開拓月報』『開拓協和』を復刻。

「満洲国」で刊行されていたため容易に閲覧することの

できなかつた当雑誌群は、

満洲移民史研究のための第一級資料である。



推薦文

現場の生の声から研究のさらなる展開を

蘭 信三（上智大学総合グローバル学部教授）

「満洲」は文明、自然環境、国際政治から多様な文脈にあった。だが日本での研究はその歴史的経緯から、「満洲国」、満鉄、そして満洲移民に多く蓄積されてきた。在満日本人の僅か一五%でしかなかった満洲移民の研究が多いのは意外かもしれない。それは浅田喬二らの先達によるところ大であるが、満洲移民事業が日本帝国主義の特質を強く反映していることにある。また、帝国崩壊後に帝国支配のツケが満洲移民にしわ寄せされ、約八万人の死者と二万余人の中国残留日本人を生じせしめたという事件性も関連していた。

初期の満洲移民研究はその事業と日本帝国主義との関連が浮き彫りにされた。ついで研究はより具体化され、開拓団・開拓農業の在り方、北海道農法導入の成否、個別開拓団の事例研究、帝国崩壊後の引揚げ、戦後開拓、中国残留日本人研究などへと展開されていった。そして近年では、北米日本人移民の農業経験と「満洲」の大型機械化農業との関連というグローバルな研究へと展開していつている。

このような研究の促進に重要な役割を果たしてきたのは、不二出版がかつて復刻した『満洲移民関係資料集成』や『満蒙開拓青少年義勇軍関係資料』等々であった。今回の『満洲開拓関係雑誌集成』は満洲開拓の実務に携わった満拓公社と開拓総局の内部資料が多く含まれている。「移住地便り」など満拓公社員の生の声があり、かつ開拓団の生産や販売などの資料から満洲開拓の具体的な在り様が浮き彫りにされる。以前の資料集とともに本雑誌集成によって、満洲移民研究が展開され、新たなステージへと高まることが期待されよう。

推薦文

「満洲開拓」に関する現地側日本語資料

白木沢旭児（北海道大学教授）

中国東北地方に傀儡「満洲国」が建国した後に、日本国内からは大きな土地を求めて農業移民が渡っていった。日本ではこれを「満洲開拓」と称している。「満洲開拓」の実態については誤解している日本人が多い。しばしば北海道開拓のように「未開の原野を開拓した」というイメージで語られることもあるが、本当に開拓をしたのだろうか。従来の満洲移民史研究では、満洲移民は昭和農業恐慌に対する農政側の施策として位置付けられることが多かった。また、ソ連参戦以後、関東軍に見捨てられた「開拓民」の悲劇の体験についても数多くの回想、手記により広く知られていた。しかし、肝腎の「満洲開拓」と称して日本人移民は現地地で行ったのか、日本人移民が入り込んだ村はどのようになったのか、という点については十分に明らかにされてこなかったといえよう。

今回、復刻された『偕拓』、『開拓月報』、『開拓協和』の三つの雑誌は、当時の満洲国内で発行され、移民や移民団の具体的な様子を含めて「満洲開拓」の実態の一部を明らかにしうる資料群である。所蔵機関が少なく、これまでの研究ではあまり用いられてこなかったのととであり、復刻によって多くの研究者に利用され、また満洲移民に関心をもつ多くの方々に読んでいただくことが可能となった。「満洲開拓」の真の姿が明らかにされることを期待している。

推薦文

満洲移民政策の実相を窺い知る窓

白取 道博（横浜国立大学教授）

このたび復刻される三誌は満洲国側における移民関係諸機関の動静を把握する上で重要な逐次刊行物である。

『偕拓』の復刻を知ってただちに思い浮かべたのは同誌に連載された佐藤秀堂「満洲開拓青年義勇隊物語」である。この記事は満蒙開拓青少年義勇軍の創設期の状況について他の公文書では得られなかった情報を教えてくれた。そこには実務の衝に当たった人々の熱誠のごとくさものが垣間見えた。内部機関誌の性格が濃いとはいえ、同じ満洲拓植公社が刊行した『甲訓月報』などと異なり、編集に携わった人々の息遣いをも感得させる。

『開拓協和』は、仮想読者を強く意識した「雑誌」という媒体の妙味に富んでいる。刊行に対する諸機関の意思、誌名の選定や編集方針の変転、また掲載された記事の多様さは、宣撫工作上の日本人移民の位置を測定する一助となろう。

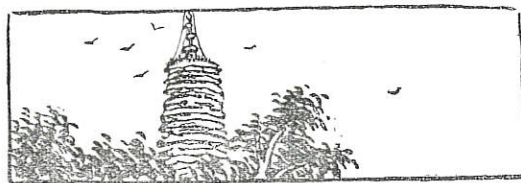
『開拓月報』は他の二誌に比してやや性格を異にする。無機的な例規類と統計表が計画と実態との乖離をも明かしてくれる。とりわけ満蒙開拓青少年義勇軍史を追究する上では、『満洲開拓青年義勇隊旬報』や『満洲開拓青年義勇隊統計年報』などと照応させることで実態に関する知見を豊富にしてくれるに違いない。

三誌に掲載された記事の水準は様々であるが、そのいずれもが満洲移民政策の実相を窺い知る窓である。

内容見本

出席者（順序不同）	
日本側	満洲側
満洲移住協合理事長 大藏公望	参 議 坪上貞二
京大農學部長 橋本傳左衛門	興農合作社理事長 小平權一
内原訓練所長 加藤完治	興農部次長 結城清太郎
日滿農政研究會員 神谷慶治	
同 和田博雄	
開拓總局長 稻垣征夫	
開拓總局總務處長 五十子卷三	
滿 拓 理 事 中村孝太郎	
彌 榮 團 長 山崎芳雄	
嫩 江 訓 練 所 長 宗光彦	
千 振 團 長 杉野忠夫	
開拓總局參與 松野傳	
奉天農大教授 木村直雄	
哈爾濱導導訓練所副所長 玉井義一	
滿洲新聞開拓課長	
(主催者側)	
副 本 部 長 三毛一夫	
實 踐 部 長 曲 乘 善	
實 踐 科 長 熱 田 基	
開 拓 科 長 久保田 豊	
主 催 滿洲帝國協和會中央本部	
日 時 康德七年七月二十三日	
場 所 新京ヤマトホテル	

▲『開拓協和』創刊号「日滿開拓問題座談会 出席者」（1940年10月）座談会の内容は、同号62～100頁に収録されている。



借拓 目次 第一巻・第一號

Table of contents for '借拓' (Volume 1, Issue 1) including sections like '社是', '創刊の辭', '卷頭言', '滿洲拓植公社の使命', '加藤完治氏講演', '移住地と新教育の原理', '協和會滿拓分會成立略誌', '協和會滿拓分會總會報告', '野 部', '陸 部', '陸上競技部', '隨 想', '内地農村より所懐を寄す', '建設理想抄', '土地買収を受ける迄', '五道海外四篇', '移民村、發芽', 'トラクターの歌', '移民園に贈る', '滿洲拓植公社ノ設立ニ關スル協定、附屬書', '滿洲拓植公社定款、新職制、分課規定', '編輯後記'.

▲「借拓」第1巻第1号「目次」(1937年12月)

Table of contents for '開拓月報' (Volume 2, Issue 2) including sections like '滿洲開拓政策に就て', '開拓協会の實踐', '滿洲開拓政策基本要綱の解説', '滿洲建國と開拓政策', '康徳七年度開拓總長會議議事録抜萃', '康徳五年度開拓總長會議議事録抜萃', '青年義勇隊募集編', '衛生訓練生養成所設置並に衛生訓練生養成所要綱', '吉林鑛工實務訓練所開設並に吉林鑛工實務訓練所設立要綱', '訓練生募集並に現在數', '康徳七年度訓練所建設工事建築計畫', '訓令類集', '開拓總局官制改正の件', '産業部内臨時職員設置制改正の件', '馬 籍 法', '軍馬管理保護法', '江密峰開拓訓練所官制', '龍江省觀音橋農場規則', '收受新着資料目録'.

▲「開拓月報」第2巻第2号「目次」(1940年3月)

滿蒙文化協会ほか 刊 (大正九年〜昭和一八年) 滿蒙 全121巻・別冊1

本誌は、旧植民地・滿洲に関する基本的資料のひとつである。創刊当初より滿鉄の庇護の下、滿鉄調査部の研究成果を毎号掲載し、天野元之助、大塚令三、田中忠夫等の筆者が多数登場する。また、文学、言語、家族、宗教、考古学等、汎く「滿蒙」に関する論文、翻訳を載せている。復刻にあたっては、『滿蒙』の前身誌『滿蒙之文化』をも含め、全一八一号を三期に分けて収録、刊行。

- 別冊Ⅱ総目次・執筆者索引
推薦Ⅱ石堂清倫・岡部牧夫・川村 湊・鈴木隆史・西村成雄・波多野太郎・丸山 昇
揃定価Ⅱ2,145,000円+税
【第一期】全31巻
(第1巻〜第31巻/大正9年〜昭和2年)
体 裁ⅡA4判・A5判・上製・総14,222頁
揃定価Ⅱ本体558,000円+税
【第二期】全46巻
(第32巻〜第77巻/昭和2年〜昭和9年)
体 裁ⅡA5判・上製・総19,784頁
揃定価Ⅱ本体792,000円+税
【第三期】全44巻・別冊1
(第78巻〜第121巻/昭和10年〜昭和18年)
体 裁ⅡA5判・上製・総20,004頁
揃定価Ⅱ本体795,000円+税



滿洲移住協会 編 (昭和一二年〜昭和二〇年) 拓け滿蒙・新滿洲・開拓 全23巻・別冊1

『拓け滿蒙』が創刊された年の夏、広田内閣によって滿洲移民が七大国策第一四項目のなかに織り込まれ、拓務省が「二十九年百万戸送出計画」をたてている。すなわち同誌は、この大量送出の推進という役割を担わされていた。それも、「分村移民方式」という具体策を積極的に提起していった。本復刻版は、『拓け滿蒙』そしてその継続誌『新滿洲』『開拓』全号を収録し、時局の進展に伴う滿洲移民の意義と実態の変化を知ることができる。第一級資料である。

- 別冊Ⅱ解説(岡部牧夫)・解題(小林弘二)・総目次
体 裁ⅡB5判・A5判・上製・総11,864頁
推薦Ⅱ安孫子麟・池田浩士・川村 湊・君島和彦・田中 学
揃定価Ⅱ本体506,000円+税

滿蒙開拓青少年義勇軍関係資料 全7巻

中国東北部を入植地とする移民は、一九三二年以降數次にわたる試験移民を経て、三七年度から「二十九年百万戸送出計画」に基づき本格化する。数え年一六〜一九歳の男子を対象とする「滿蒙開拓青少年義勇軍」は、三八年から四五年まで、滿洲移民の主流となり、軍事・治安上の役割を補完し続け、その終焉は、多くの人々の心身の摩滅と破壊を伴った。「滿蒙開拓青少年義勇軍編成ニ關スル建白書」ほか五〇編の資料を収録。

- 編・解題Ⅱ白取道博
体 裁ⅡB5判・上製・総2,980頁
推薦Ⅱ岡部牧夫・上笙一郎・佐藤秀夫・逸見勝亮
揃定価Ⅱ本体140,000円+税

興農合作社関係資料 DVD版 全2枚・別冊1

「滿洲国」政府は、農業経済の疲弊を打破するため金融合作社(一九三四年)、農事合作社(一九三七年)、そして両者を統合した興農合作社を一九四〇年に設立し、農民(漢族・滿族・朝鮮族・モンゴル族)の組織管理を行った。過酷な搾取から農民を救済する協同組合の一面もあった農事合作社の地方機関誌には、佐藤大四郎ら北滿型合作社運動の詳細が、また興農合作社中央会機関誌『興農』には、「滿洲」農村の実態を知る貴重なデータの他、多数の論文、文芸作品が掲載されている。

近代日本と「滿洲国」 植民地文化学会 編

本書は、一九九二年から一九九六年まで五年間にわたりに開催された、日本と中国の「被害と加害」の歴史を文化的側面から検証するシンポジウム「日本帝国主义と(滿洲国)の文化」の報告をまとめたものである。「滿洲国」研究者、文学研究者必携の一冊。

滿洲泰阜分村——七〇年の歴史と記憶

本書は開拓団員二〇数名に上る生の声、研究者の学術論考、移民・引揚・帰国支援関連の村役場資料、丹念に作成された年表と名簿、さらに「滿洲泰阜分村―後世に伝う血涙の記録」を一部再録した労作。